

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岩手県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	岩手県立一関第二高等学校 全学年（644名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 保健体育 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ LHR ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	2020年に行われる東京オリンピックに興味関心を持たせ、多様な視点からオリンピックに関わる意識や態度を育成する。また、オリンピックの話聞くことで、本校生徒の潜在能力を引き出すきっかけとする。
5 取組内容	<p>■事前指導 (目的・講師の紹介・オリンピックの価値についてプリントを使用)</p> <p>■講演会(講演20分・実技披露20分) *実技披露では、前半は実際の道具を使いながらルールを説明していただき、後半は本校フェンシング部の生徒3名と対決をしていただいた。</p> <p>■事後指導 (アンケート2つ実施)</p>



6 主な成果	<p>自分の努力次第で結果につながると感じた様子で、今後の生活に意欲を持った生徒が多くいた。オリンピックの言葉は生徒たちの心に大きく影響を与え、自分の目標達成に向けて努力するきっかけとなった。このことから、目標であった潜在能力を引き出すきっかけとしては大いに成果が得られたと考える。</p> <p>アンケート結果から、講演前はオリンピック・パラリンピックに対してあまり興味・関心がなく、関わり方も知らなかったようだが、講演後は様々な形で関わりたいと考える生徒が多くなった。特に「見る」、「知る」といった関わり方に興味を抱いたようである。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>実技披露だけでなく、フェンシング部の生徒と対決という形をとった。</p> <p>本校をリードするフェンシング部の生徒と直接対決をしていただくことで、より生徒たちがオリンピックを身近に感じ、興味を抱くのではないかと考えた。また、世界と戦う人はこんなにもすごいのだと感動を覚え、よりフェンシング競技を始めスポーツ、オリンピックの魅力を感じるのではないかと考えた。</p>
8主な課題等	<p>■50分授業の中での実施であったが、これでは短すぎた。 (約15分オーバー)</p> <p>■質疑応答の時間の確保 (2人質問したが、質問をしたい生徒がまだまだいたように感じた。)</p>
9来年度以降 の実施予定	<p>保健体育の授業を中心に、オリンピック・パラリンピックについての学びを入れていきたいと考えている。</p> <p>具体的には、実際に各競技の映像を見せたり、パラリンピックの種目の体験をさせてみたい。</p> <p>また、競技を見るだけでは見えてこない、経済効果等の社会問題等についても体育理論の授業を中心に行っていく。</p>